

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ウォーキングイベントを活用した小諸・布引伝説発信事業
事業主体 (連絡先)	小諸市観光協会 (小諸市大手1-6-16 電話 0267-22-1234 会長：花岡隆 担当：小室孝明)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,996,000円 (うち支援金：2,997,000円)

事業内容

小諸城址懐古園をスタートとした『布引伝説ウォーキング』を2015年5月23日(土)に開催し、2015名を集客。当事業に該当する発信事業では、当イベントを活用し小諸布引伝説を広くPRし、善光寺と小諸の強い関係をアピールすることで小諸ブランドを作った。

- 1) 布引伝説ウォーキングオープニングセレモニー開催
新規制作のプロジェクトマッピングを投影。
昔話風の語り&小諸センゴク甲冑隊による演劇ショー、参加者の声を聞くプレイベントを開催した。
- 2) 善光寺ゴールに大きな記念タペストリーを設置
- 3) 当日のVTR編集及びYOU TUBE 動画広告の配信
- 4) 首都圏200以上メディア・観光客向けPRの実施
- 5) 小諸市民及び事前観光客への告知強化
牛の石造レンタルと顔抜き看板の制作を実施。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 小諸布引伝説の周知・PR実現
プロジェクトマッピングという話題性を持ったイベントを核とした事業展開により、メディア配信や動画広告による強いPRを実施。また2000名もの参加者自身による発信を助長し更なる広がりを作った。
- ② 観光資源の再発掘
布引伝説の価値を再確認し、広く受け入れられた。
- ③ ウォーキングイベントの魅力増
大きな混乱なく参加者1629名が完歩し、満足度も高く布引伝説を強く印象付けるものとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

当イベントは布引伝説に基づく小諸・善光寺間のウォーキングであり、イベントだけでなく広域観光として体制を整え、常時の観光商品化をしていく。小諸を中心に信州を歩いてもらう楽しみを今後も継続的に発信していき、「浅間山」「小諸城址・懐古園」といった代表的な観光地への誘客のみではなく、市内外を巡ることが出来る街づくり、地域づくりを行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【オープニングイベント】
プロジェクトマッピング

【目標・ねらい】

- ① 小諸布引伝説の周知・PR実現
- ② 観光資源の再発掘
- ③ ウォーキングイベントの魅力増

※自己評価【B】

【理由】
当日のイベント及び当事業は成功を収めたが、今後の継続的な観光資源としての展開にいかにつなげるかを模索中のため。